

「一過性てんかん性健忘 (transient epileptic amnesia)」とは？

【特徴】

- ①てんかん発作が原因で一時的に記憶障害が起きる病気です。
- ②もの忘れの症状が目立ち、急に認知症になったと間違われることもあります。
- ③脳波で異常（てんかん波、徐波）が見つかることが多い（約 1/3 では脳波異常が出ない）。
- ④抗てんかん薬の内服で治療をおこないます。

【症状】

前行性健忘（いま現在の記憶が保持できない）と逆行性健忘（昔のことも忘れてしまう）の両方がみられる。

中年～高齢者に発症することが多い。

症状の持続時間は 1-2 時間以内と短いことが多い。

朝、起床後に症状が出るが多い。

再発しやすい（1 回/月～数回/年）。

【参考】

一過性全健忘 (transient global amnesia) という病気でも似たような症状が起きます。一過性全健忘では『精神的ストレス、身体的負担がきっかけになって発症する』『症状が半日～1日と長時間続く』『再発率は低い』『脳波異常がない』などの特徴があります。